

環境モデル都市行動計画概要

熱分野を中心とした低炭素なまちづくり

- ◆ 冬の暖房のためにたくさんのエネルギーを使うニセコ町では熱分野に積極的に再生可能エネルギーを導入します。
- ◆ 特に温泉に恵まれたニセコの地域資源を活かして、捨てている温泉排水や使っていない温泉熱の利用に取り組み、二酸化炭素の削減を目指します。

持続可能な観光の推進

- ◆ 世界中にニセコの環境への取組みを発信し、国際環境リゾート地・ニセコの地位を確立します。
- ◆ 観光客が「遊び」から「エコ」に気づいてもらえるようきっかけづくりを行い、観光に関わる人たちとともに自転車を使った遊びやフットパスなどよりの少ないエコな観光方法を提案します。

観光と環境の横断的な取組み

- ◆ 観光客にニセコの自然を楽しんでもらう代わりにお金を納めてもらい、そのお金をニセコに住む人たちやホテル、レストランが省エネのための取組みや自然エネルギーを導入するために使うお金として利用できるしくみづくりを進めます。
- ◆ 環境にやさしいエコ生活や自転車や歩いてニセコ町を楽しむ人たちはニセコ町でお得に買い物ができるなどエコに取り組みたくなるような方法を考えます。
- ◆ 省エネや自然エネルギーに取り組むホテルやレストランがどれだけ環境保全をがんばっているかわかるように情報を観光客にお知らせします。
- ◆ ホテルやスキー場のCO₂削減をお手伝いして、それぞれから排出されるCO₂量を決めます。

町民生活における省エネ及び再生可能エネルギーの普及

- ◆ デマンドバスや観光バスのクリーン車化を企業や観光客と一緒に進めます。
- ◆ ごみの減量化・資源化、省エネ家電やエコ住宅の導入、独立型電力の普及支援など生活環境のエコ化を進めます。
- ◆ 町内すべての小中高등학교及びインターナショナルスクールのエコスクール化を行い、環境教育・人材育成を進めます。

農業や産業における再生可能エネルギーの普及

- ◆ ニセコの地域資源である雪を使って、農産物をおいしく保存して、付加価値をつけて販売することを考えます。
- ◆ 農業で使う化石燃料を減らすための省エネ支援や地中熱利用、雪を使った保存方法を積極的に進めます。

スマートコミュニティ・ニセコの実現

- ◆ 電力や熱を供給するエネルギー供給組織を立ち上げ、ニセコ町のエネルギーの一部を供給します。
- ◆ ニセコ駅前エリアをモデル地区として再生可能エネルギーによる熱・電力のネットワーク化を進めます。



二酸化炭素排出量削減目標

1990年比	2016年度	7%削減
	2020年度	30%削減
	2050年度	86%削減

推進体制や事業推進の考え方

私たちは、これまで町の取り組みや事業に対して、町の人たちや外から来た人たちとともに知恵を結集させて取り組んできました。今後も、たくさんの人たちと協力して進めていくための方法を話し合います。

産官学金を超える一体性を持った取り組み図

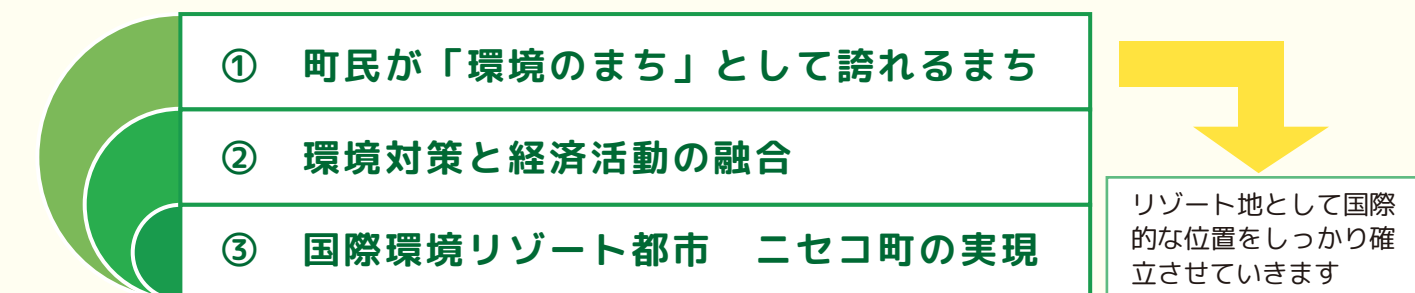


実践事業



環境モデル都市としてニセコ町を目指す方向

環境モデル都市として、ニセコ町を目指す方向を下記に示しました。



ニセコ町 企画環境課 環境モデル都市推進係
 〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見4 7 番地
 TEL : 0136-44-2121 FAX : 0136-44-3500
 Email : kankyo-e@town.niseko.lg.jp
 URL : http://www.town.niseko.lg.jp/



環境モデル都市 ニセコ

国際環境リゾート都市 ニセコ町

環境モデル都市 ニセコ町

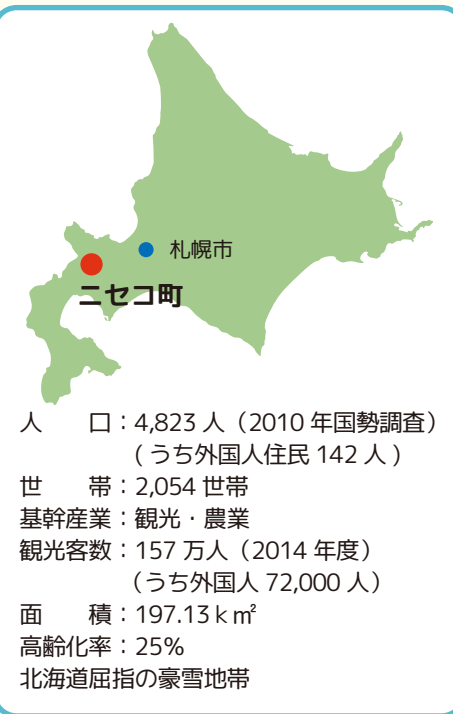
ニセコ町を支えている大切な産業は観光と農業です。世界中からたくさんの観光客が訪れたり、おいしいお米や野菜を生み出すのはニセコのきれいな水や空気のおかげです。このすばらしい自然を守るために、町では環境を守る活動に取り組んできました。

ニセコ町をどのような町にしていくのかを定めた平成 24 年度からの年間の計画では、地球温暖化対策やニセコにある資源を大事に使いながら役立てることを決めています。

ニセコ町の地球温暖化対策について決めた計画では、ニセコ町のCO₂ 排出量を 2050 年までに 1990 年比で 86%削減することを目標に掲げています。

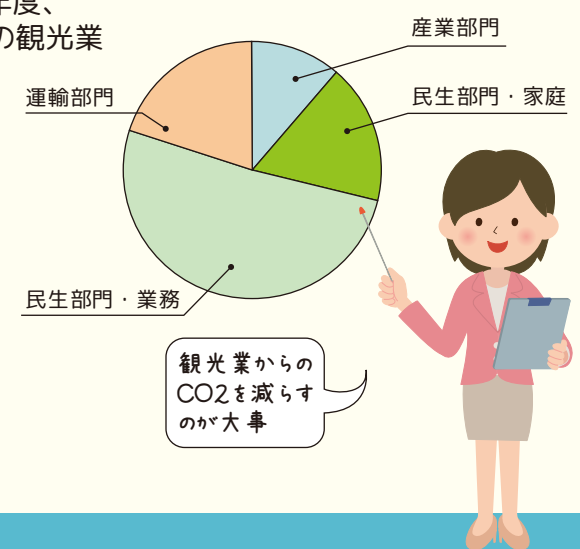
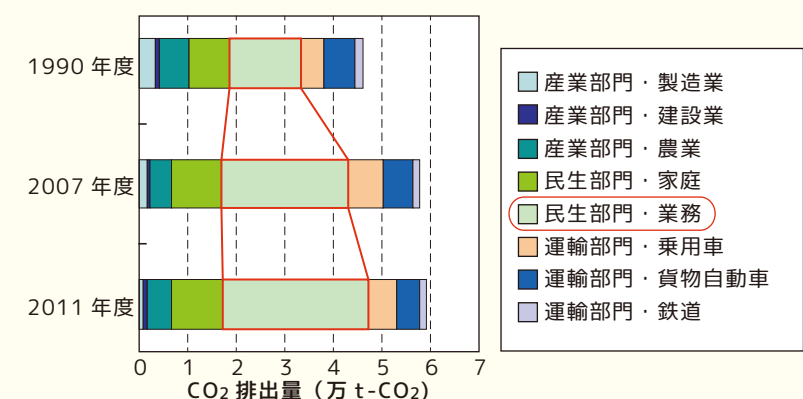
平成 26 年 3 月ニセコ町は、道内で帯広市、下川町についで 3 番目に国から「環境モデル都市」に選定されました。これを機に、町では地球温暖化対策をさらに進め、国際環境リゾート地として成長させていきます。

※環境モデル都市とは、CO₂ をできるだけ出さない社会にするために、高い目標を掲げてチャレンジする都市として、国から選定を受けた都市のことです。(平成 26 年 5 月現在 23 自治体)



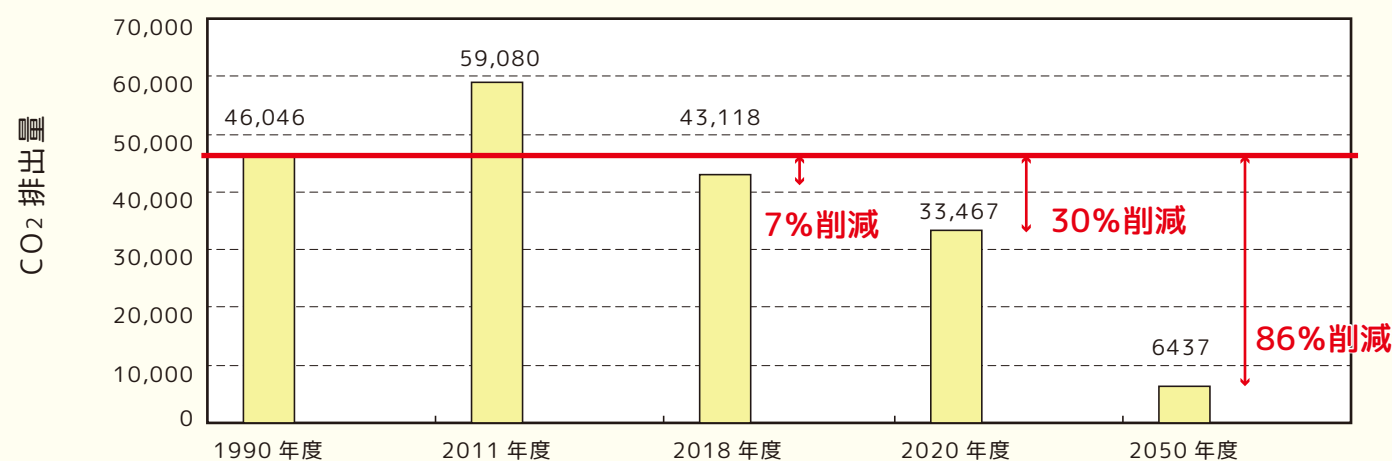
ニセコ町が排出する CO₂ 排出量の現状

ニセコ町の二酸化炭素排出量は 59,080 t-CO₂ で、1990 年度、2007 年度と比べても増えてしまいました。特にホテルなどの観光業(民生業務)からの CO₂ が大きく増加しています。



ニセコ町における CO₂ 削減目標

ニセコ町には年間 150 万人の観光客が訪れています。最近では、外国から来訪者も多くなり、ニセコは「国際的な観光リゾート」として世界でも有名になってきました。ニセコ町にとってきれいな水や空気を守りながら、さらに活かしていくことは、産業を守ることにつながっており、その中でも、地球環境問題に積極的に取り組むことが、ニセコを世界ブランドへと発展させるカギとなっています。そのために、かなり思い切った削減目標を設定しており、地域の本気度を示しています。



〈農地〉

雪氷熱利用による農業の六次産業化

クリーン米・農産物の雪氷熱貯蔵

〈リゾート地区〉

温泉熱・温泉排水の利用
温泉熱・地熱バイナリー発電
省エネ設備導入

エコツアー

〈市街地〉

地中熱ヒートポンプ (公共施設)

太陽光発電

LED 街路灯

エコ住宅・エコ活動

堆肥センター

〈山間部〉

地熱バイナリー発電
木質バイオマス活用
小水力発電
風力発電

〈交通システム〉

デマンドバス

ニセコの自然環境を保全する仕組み

- 自然公園 (支笏・洞爺国立公園、ニセコ積丹海岸国定公園)
- ニセコ町環境基本条例
- 景観条例
- ニセコ町水道水源保護条例
- 地下水保全条例
- 準都市計画

【北海道インターナショナルスクール・ニセコ校】

2012 年開校

【コミュニティ FM・ラジオニセコ】

2012 年 3 月開局
76.2 MHz

インターネットで視聴可能

<http://radioniseko.jp/>

【現在進行中の取組み】

- 環境モデル都市選定 (2014 年 3 月)
- 国営緊急農地再編整備事業 (2014 年～)
- ニセコ観光圏認定 (ニセコ町・倶知安町・蘭越町) (2014 年 7 月)